

意見交換会の開催概要

令和5年（2023年）10月7日、14日

播磨町

1. 開催概要

○ 播磨町の現状を踏まえ、今後の公共交通のあり方について考える意見交換会を開催

【10月7日（土）10:00～11:30】

- ・ テーマ：車や自転車に乗れなくなってもお出かけできるまち
- ・ 参加者：32名

【10月7日（土）13:30～15:00】

- ・ テーマ：学生・若者のアイデアがつなぐ地域の公共交通
- ・ 参加者：11名

【10月14日（土）10:00～11:30】

- ・ テーマ：播磨町のこれからの地域公共交通
- ・ 参加者：10名

【10月14日（土）13:30～15:00】

- ・ テーマ：播磨町のこれからの地域公共交通
- ・ 参加者：4名

【意見交換会概要】

○ 播磨町の現状を知る

- ・ 播磨町を取り巻く現状
- ・ アンケート調査等の結果

○ 話題提供

- ・ 地域の暮らしを支える「公共交通」とは
※近畿大学総合社会学部総合社会学科環境・まちづくり系専攻 北川氏による

○ 意見交換

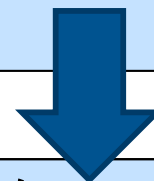
- ・ グループに分かれて、各テーマによる意見交換を実施

2. 意見交換会での主な意見

テーマ：車や自転車に乗れなくなってもお出かけできるまち

【現状について】

- ・ タクシーの予約が取りづらい
- ・ 路線バスは、昼間に運行していない時間帯がある
- ・ バスを利用したいが、住まいの近くにバス停がない
- ・ タクシー券を使って、病院へ月2~3回行くとすぐになくなってしまう
- ・ 播磨町はかかりつけ医院は多いが、町外の大きな病院へ行くときは不便
- ・ 運転免許証を返納した後が不安
- ・ 自転車で買い物行くと大きなものが買えない
- ・ 道路の段差を改修してほしい



【車や自転車に乗れなくなってもお出かけできるまちにするためには】

- ・ コミセン同士や駅・役場・店舗を結ぶバス
- ・ バス路線まで遠いので、大きいバスではなく小回りの利くバスを運行
- ・ 幹線を結ぶ支線交通を充実
- ・ 明石市のTacoバスや加古川市のカコバスのようなコミュニティバスまたは乗合タクシーを運行
- ・ 明石市敬老優待乗車券のような料金施策により、高齢者がバスを利用しやすくする
- ・ 住まいの近くに停留所がほしい



2. 意見交換会での主な意見

テーマ：学生・若者のアイデアがつなぐ地域の公共交通（1/2）

【私が感じたこれから播磨町で起こる地域交通の課題って？】

〔バスの減便・廃止〕

- ・バス事業廃止がどんどん多くなる
- ・運転手や、利用者が減ってバスの数も減っていく。（利用したい人が利用できない）
- ・利用者が減って町内にバスなどが走らなくなる

〔利便性低下〕

- ・（バスが廃止されたら）雨の日の移動手段が全くない。（自転車が使えない）
- ・バスに乗る人も運転する人も減っている、バスの数が減っていく、乗りたいときにバスがない

〔その他〕

- ・バスの利用がなくなって免許を持っていない人が困って出ていく

〔利用者の減少〕

- ・バスを利用する人が少なくなっていく
- ・小・中学生などが地域交通を使わなくなる
- ・中高生のバスなどを使う頻度

〔ドライバー不足〕

- ・運転手不足
- ・乗務員の数が減って本当に利用したい人が使えなくなる

2. 意見交換会での主な意見

テーマ：学生・若者のアイデアがつなぐ地域の公共交通（2/2）

【私が町長だったら、こうやって解決してみます！】

〔新たな乗り物の運行〕

- ・バスは大きすぎる、もう少し小さい乗り物で運行する
- ・自動運転のバス。国が運営する
- ・大型運転免許が要らない公共交通の整備
- ・車に乗れない人は本当にバスに乗りたいの？タクシーとかも良いのでは

〔利用促進〕

- ・バスの良さ・便利さを知ってもらう
- ・若者受けするインスタ映え、「使いたくなる機能」を加える
- ・何回か乗ったら無料になる
- ・バスに乗って買い物に行くと半額で買い物ができる
- ・バスを活用したイベント（スタンプラリーなど、播磨町について知ってもらえる。）
- ・キャラクターなどとのコラボレーション・キャンペーン

〔ドライバーの確保〕

- ・運転手になりたいと思えるような環境づくり
- ・運転手を増やすため、年収をすごく高くする
- ・公共交通を全て無料にし、運転手の給料は国から支給する

〔その他〕

- ・移動するのではなく、来てもらう
- ・地域にお店や病院を増やす



2. 意見交換会での主な意見

テーマ：播磨町のこれからの地域公共交通（午前の部）

【私は播磨町でこんな移動を実現したい】

〔コミュニティバスについて〕

- ・Tacoバスやかこバスの延伸など、他市との連携してはどうか
- ・明石市は細かいルートでコミュニティバスが走っており、播磨町でもできないか
- ・町内でもTacoバスやかこバスを利用する人もいる

〔バス利用の現状〕

- ・加古川医療センター行きが出来て便利になった
- ・行きは使いやすいが、帰りの時間があわない（病院の診療時間に合わない 等）
- ・1時間に1本あれば生活と合わせられる
- ・明石市ではバスの高齢者割引が幅広く適用される

〔普段の外出について〕

- ・町内に目的地がない。町内に魅力ある施設を誘致する必要もあるのではないか
- ・買い物はイトーヨーカドーに行けるのが理想。町内で日用品が揃えにくいので行き先が町外になりがち
- ・公共施設（役場や図書館等）に行く足がなくて困る
- ・大きな病院に行く足がなくなるのは不安

〔タクシーについて〕

- ・タクシー券は名前の記載がなく使いやすくなかった
- ・町外から帰って来にくい
- ・タクシーしか選択肢がなく、交通費がかかる



2. 意見交換会での主な意見

テーマ：播磨町のこれからの地域公共交通（午後の部）

【私は播磨町でこんな移動を実現したい】

〔タクシーについて〕

- ・高齢者（夫婦等）での利用が多く、予約時間も集中している
- ・加古川市民中央病院にタクシーで行くグループがあってもいいのではないか
- ・バスを無くしてタクシーを公共交通と思い切ってしまうのはどうか



〔バスについて〕

- ・家とコミセンの移動が多いが、コミセン同士の移動は少ない
- ・イベント時のバスがなく、車や自転車の移動に限られる
- ・町内で困っている人とそうでない人の差が大きい。Tacoバスやかこバスを利用できる人もいる

〔播磨町の特徴〕

- ・コンパクトなまちに駅が2つあるのが強み
- ・道がデコボコ、歩道が斜めのところが多く、安全安心に外出できない。車椅子が通れない。車椅子や自転車での外出機会が減っているのでは
- ・コンパクトなまちの利点を活かし、歩けるまちにしてほしい
- ・土山駅周辺が坂道で歩くのが大変

〔公共交通の将来像〕

- ・町の人口を考えると小型のバスで便を増やしてほしい
- ・バスにこだわる必要はなく、町民が安全安心に移動できるモビリティを考えることが重要